

DOKKYO
UNIVERSITY
60th
Anniversary
since 1964

Dokkyo Picks

獨協と未来の架け橋となる広報誌

2024 SPRING
Vol.484

5月号

学長メッセージ

How to Enjoy Dokkyo Life

獨大生がオススメする!

~獨協大学の過ごし方ON & OFF~

CAMPUS NEWS

DOKKYO SDGs / 獨協大学の防災

芸術・文化に触れよう! / ぶらりらいぶらり

RECOMMEND BOOKS





前沢 浩子(まえざわ・ひろこ)

津田塾大学大学院文学研究科博士課程英文学専攻を単位取得満期退学(文学修士)。獨協大学着任後は英語学科長、国際交流センター所長を歴任。2024年4月1日より学長に就任。

- 2006年 獨協大学外国語学部英語学科助教授
- 2011年 獨協大学外国語学部英語学科教授
- 2017年 英語学科長
- 2020年 国際交流センター所長
- 2024年 学長

創立六十周年を迎え、「学問を通じての人間形成の場」として進化し続ける ——学長 前沢 浩子

多様な環境の中で育まれる
伸び伸びとした成長

入学式やガイダンス、履修登録など、新学期のあわただしさは、ひととおり落ち着いたら、獨協大学のキャンパスは、美しい緑にあふれかえります。プロムナードの桜並木は葉桜へと姿を変え、雄飛ホールから天野貞祐記念館へ向かってまっすぐに続く銀杏も、柔らかな若葉の並木となります。生気を放つ新緑の木々の下を、新たな学年を迎えた若者たちが行き交い、明るい談笑の音が空気に華やきを添えます。

そのような新緑の季節を一年、また一年と繰り返し、獨協大学は今年、創立六十周年を迎えました。六十年前の春、創設者であり初代学長であったカント学者、天野貞祐先生は第一回目の入学式で新入生に向かって、次のような哲学者ヘーゲルの言葉を語りました。

一本の果物の樹がどういふ果物を実って、その果物がいかなる大きさを持ち、いかなる形を持ち、いかなる匂いを持ち、味わいを持つかということは、その一本の大きな果樹の芽生えの中に入っている。

ラムが導入されました。学生主体のプロジェクトを中心とした科目や、大学の外の機関や組織と協働する科目も新たに始まります。またITやデータサイエンスの知識やスキルを身につける「情報科学教育プログラム」も、本格的に始動します。こうした新しい科目だけでなく、従来からある伝統的な学問分野でも、常に新しい問いが立てられています。哲学でも、法学でも、文学でも、学問は閉じたものではなく、ダイナミックに変化する世界に向かって開かれています。歴史を踏まえつつ、今の時代を分析し、次の時代への展望を探る。そこに学問の面白さが、必ず見つかるはずですよ。

獨協大学の正門を入ってきた正面には、メタセコイアの木が規則正しく並んでいます。中央棟が建てられた一九八一年に植えられた時には、どんな高さだったのだろうと、その林を通り抜けながら、私はしばしば空想します。今、メタセコイアの木々は、空に向かって突き上げるように、その梢を伸ばし、そばに並ぶ三本のフラッグポールをゆうに超える高さになっています。このメタセコイアの木のように、どこまでも伸びやかに、新しい時代に向けた「学問」を追い求めていきましょ。

れています。学生のみならず、ひとりひとりも
大学人です。

しかし、動植物の遺伝子が環境に適合しながら組み替えや変異を起こし、多様性を生じさせながら、種としての進化を経験するように、私たちが受け継いでいる建学の理念もまた、固定的なドグマではなく、多様性に向かって開かれ、進化していくものでなければいけません。「学問を通じての人間形成」という言葉にどのような意味を見出していくのか、学生も教職員も問い続けていくことこそ、獨協大学の進化を促し、発展を支える理念です。

時代の急激な変化に対峙し、 学問のあり方を問う

デジタル情報技術の進歩は活版印刷出現以来のメディア革命を起こしました。AIはこれから急激な進化を遂げます。近代的な政治経済の基本的価値観として受け入れられてきた民主主義と資本主義に対して、懐疑の念や行き詰まり感が広まり始めています。地球環境の破壊が人類全体の課題として深刻に論じられる一方で、世界各地で民族対立や国境紛争が起きています。このような世界的な転換点に私たちは立っています。この時代に「学問」のあり方を問うことこそ、大学に身を置くすべての人、大学人に求めら

世界のダイナミズムを感じながら 伝統×進化する学びを吸収する

獨協大学では二〇二四年度から新カリキュ

この言葉は大学の発展や人の成長を、樹木の有機的な変化に例えています。プラスチックや金属でできた工業製品とは異なり、自然の中の樹木は完成形が決まっています。環境の変化に適応しながら、芽は殻を突き破って土から顔を出し、若苗は空へと伸び、やがて木は枝を広げ、花をつけ、果実を実らせると。その果実を突き破って、また新たな種子が次の芽を生じさせる。そのようにして多様な変化を遂げながら、小さな芽生えはやがて大きな森へとも成長しうる。そのような豊かな自然の営みを心に思い描きながら、天野先生は小さな芽生えである第一回目の入学生に向かって成長への期待を語り、獨協大学の発展を心に期しておられたのだと思います。

それから六十年、当初、外国語学部と経済学部の二学部三学科で始まった獨協大学は、現在、四学部十学科と大学院を擁する文系総合大学へと大きく発展してきました。その六十年の発展の基盤となったのは、「大学は学問を通じての人間形成の場である」という建学の理念です。建学の理念とは、いわば樹木の中に組み込まれているDNAです。「大きな果樹の芽生え」の中に吹き込まれた天野先生の精神は、遺伝子のように受け継がれながら今日まで継承されています。



四月一日、35周年記念館アリーナにて二〇二四年度入学式を挙行し、学部生、大学院生あわせて、二〇八二名が新たなスタートを切った。



前沢浩子学長

【学科】	
ドイツ語学科	121名
英語学科	298名
フランス語学科	113名
交流文化学科	115名
言語文化学科	174名
経済学科	347名
経営学科	333名
国際環境経済学科	137名
法律学科	223名
国際関係法学科	97名
総合政策学科	116名
合計	2074名
【大学院】	
法学研究科	2名
外国語研究科	5名
経済学研究科	1名
合計	8名

式典で、前沢浩子学長は「獨協大学は、初代学長長天野貞祐先生の『大学は学問を通じての人間形成の場である』を建学の理念として一九六四年にこの草加の地に開学してから本年度で創立六十周年を迎えました。この建学の理念は『学問』とは何か『人間形成』とは何かを私たちに問いかけているものです。『学問』とは何かを考えた思想家の一人にイギリスの哲学者フランシス・ベーコンがいます。ベーコンは『わかつたつもり』になるのではなく、『一人の経験を通して知識を積み重ねていく』ことが大切だと主張しました。群衆の中で多勢の意見に流されるのではなく、孤独を恐れず一人で考える力を持ってください。しかし一人である時でも、他者の視点を持ち続けてください。また『人間形成』とはどのような意味かを、これからの四年間をかけて考えてください」と式辞を述べた。続いて、猪口雄二獨協学園理事長は「大学生活は高校までのような与えられる学びではありません。自ら掴み取りに行く姿勢が、皆さんの将来を明るくものにしてください。これからは、自らの周囲だけでなく、世界を見据えた学びを獲得してください。学問的に、人間的に豊かな学生生活を送られることを心より願っています」と激励の言葉を贈った。

また、ドイツ連邦共和国大使館ゼーケンケグロト・フーゼン二等書記官文化課長より、「獨協大学は創立以来、日本のどの教育機関よりもドイツと格別の絆で結ばれている大学です。獨協大学による日独をつなぐ伝統が、ドイツやドイツ文化に対する皆さんの興味を呼び起こすことに貢献すること願っています」とお祝いのメッセージを述べた。

入学式終了後、新入生たちは学生証の交付を受け、その後キャンパス内の各所で記念撮影する姿が見られた。

新任教員紹介

(五十音順)

- 氏名(ふりがな)
学部学科・役職
①最終出身校
②主な担当科目
③ひとこと



N.柳田
(N.ヤナギタ)
外国語学部ドイツ語学科
専任講師

- ① マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルク、慶應義塾大学大学院
- ② 実践ドイツ語I・II、上級ドイツ語スピーキングa,b、中級ドイツ語リスニング(CAL)a,b、インターンシップ特別演習
- ③ 学習動機や学習方法について研究しており、学生の助けになりたいので、勉強に困ったら話しかけてください。



石井 研司
(いしいけんじ)
法学部総合政策学科
特任助教

- ① 九州大学大学院
- ② Speaking in Academic Contexts, Academic Listening Strategies 等
- ③ 有限な時間は皆さんの努力と意志でより有意義で有意義なものとなります。変化を恐れず学びましょう。



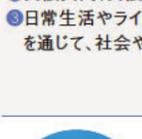
齋藤 由佳
(さいとうゆか)
外国語学部フランス語学科
専任講師

- ① アンジェ大学大学院
- ② フランス現代社会各論、フランス現代社会講読
- ③ フランスの食文化史が専門です。「食べる」という営みを通して社会や言語について学んでいきましょう。



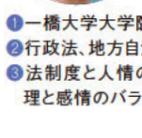
齋藤 由佳
(さいとうゆか)
外国語学部フランス語学科
専任講師

- ① アンジェ大学大学院
- ② フランス現代社会各論、フランス現代社会講読
- ③ フランスの食文化史が専門です。「食べる」という営みを通して社会や言語について学んでいきましょう。



杉浦 林太郎
(すぎうらりんたろう)
法学部法律学科
教授

- ① 明治大学大学院
- ② 民法入門、民法I・II、外国法講読 等
- ③ 日常生活やライフサイクルに関係する法である民法を通じて、社会や世界へと踏み出していきましょう。



服部 麻理子
(はっとりまりこ)
法学部総合政策学科
教授

- ① 一橋大学大学院
- ② 行政法、地方自治法、法律学特講(行政過程論) 等
- ③ 法制度と人情の関係性に関心をもっています。論理と感情のバランスを、一緒に検討しましょう。



松本 健太郎
(まつもとけんたろう)
外国語学部英語学科
教授

- ① 京都大学大学院
- ② コミュニケーション論特殊講義、コミュニケーション論文セミナー 等
- ③ 理論と実践を往還しながら、現代文化を考えるための新しい視座を、ぜひ一緒に開拓していきましょう。



村山 昌平
(むらやましょうへい)
経済学部国際環境経済学科
特任教授

- ① 東北大学大学院
- ② 環境学、特殊講義(地球温暖化と温室効果ガス)、特殊講義(森林の生態系)、特殊講義(環境データを用いたデータ解析入門) 等
- ③ 地球環境の問題を身近なものとして、科学的な視点から皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。



大場 樹精
(おおばこだま)
国際教養学部言語文化学科
専任講師

- ① 上智大学大学院
- ② スペイン語、ラテンアメリカの歴史と文化 等
- ③ 皆さんと一緒にラテンアメリカ理解を深めながら、たくさんの「当たり前」を考え直していきたいと思っています。



榊原 嘉明
(さかきばらよしあき)
法学部法律学科
教授

- ① 明治大学大学院
- ② 労働法、法律学特講(労使関係法) 等
- ③ あなたはこの世界の「主人公」の1人です!隣人と共に自分らしく輝ける、そのための学びをともに獨協で!



高田 久実
(たかだくみ)
法学部法律学科
准教授

- ① 慶應義塾大学大学院
- ② 日本法制史、日本近代法史 等
- ③ 過去を覗くと、今の成り立ちが見えてきます。法という媒介で複数の世界を繋げる面白さを味わいましょう。



古川 光明
(ふるかわみつあき)
経済学部国際環境経済学科
教授

- ① 一橋大学大学院
- ② 国際公共政策論、国際開発論 等
- ③ 国際社会を取り巻く環境は大きく変化しています。持続的発展のあり方について一緒に考えていきましょう。



光野 百代
(みつのももこ)
国際教養学部言語文化学科
准教授

- ① メルボルン大学大学院
- ② 多文化社会のローカルコミュニティ、英語圏事情、Integrated English 等
- ③ 英語も多文化共生も最近よく目にし、耳にする言葉ですが、皆さんとの学びをとおして謙虚に世界を知ることができればと思います。



喜島 千晴
(きじまちはる)
国際教養学部言語文化学科
専任講師

- ① 北京大学
- ② 中国語I・II、中国語上級、中国語演習、日中交流史、中国言語文化論 等
- ③ 中国っておもしろい!中国語って楽しい!そう思う学びに、皆さんと一緒に取り組んでいきたいです。



佐々木 優香
(ささきゆうか)
外国語学部ドイツ語学科
専任講師

- ① 筑波大学大学院
- ② ドイツ語圏の歴史・現代社会G,H、総合ドイツ語III、IV 等
- ③ 専門は日独の移民研究です。ドイツ語圏に関する専門的な学びが日本を捉え直すきっかけとなれば幸いです。



中窪 裕也
(なかくぼひろや)
法学部国際関係法学科
特任教授

- ① ハーバード・ロースクール(LL.M.課程)
- ② 英米法、法律学特講、外国法講読 等
- ③ アメリカの労働法を中心に研究しています。良くも悪くもユニークで刺激的な国、一緒に学んでいきましょう。



古畑 侑亮
(ふるはたゆうすけ)
国際教養学部言語文化学科
特任講師

- ① 一橋大学大学院
- ② 日本研究概論II、日本前近代史I・II、日本近現代史I・II 等
- ③ 転換する時代を如何に生きるべきなのか、遺された古文書や書籍を紐解きながらともに考えて参りましょう。



村井 哲也
(むらいてつや)
法学部総合政策学科
教授

- ① 東京都立大学大学院
- ② 日本政治外交史、政治過程論、日本政治史
- ③ 歴史的な観点から日本政治を研究しています。明るく楽しく講義するので少しでも関心があれば気軽に履修してください!

第五十七回卒業式・第四十六回学位記授与式を挙行



三月二〇日、第五十七回卒業式・第四十六回学位記授与式を挙行し、一七四六名の卒業生、修了生が旅立ちの日を迎えた。

山路朝彦学長(当時)は「大学は学問を通じての人間形成の場である」という本学の建学理念は、大学は学問を教授する場であると同時に、教える者と学ぶ者が一体となって『人間形成』という営みを成し遂げる場であるということです。皆さんは、獨協大学で学んだことに誇りと自信をもって、これから社会人としての新たな歩みを始めよう。身に付けた多くの力を精一杯発揮して、より良い、優しい社会を作り出していきましょう」と式辞を述べた。

続いて、猪口雄二獨協学園理事長は「学びも人生もいつも必ずうまく行くものではありません。その時に最も大切な事は、嘘や偽りのない真摯な態度です。その態度は皆さんの人生を必ず豊かなものにするでしょう。多くの先人たちが作り上げたこの学園を土台に、高く高く羽ばたいていってください」と述べ、卒業生を激励した。

卒業生を代表し、草薙凛々さん(外国語学部英語学科)が答辞を述べた。

式典終了後には、本学の35周年記念館内で五年ぶりに祝賀会が開催され、袴やスーツを着た卒業生が友人らと思い出を語りあう様子や、記念撮影をする姿が見られた。また、東門からのプロムナードには、クラブ・サークルの部員から寄せられた祝福と感謝の気持ちを添えたメッセージボードが設置され、学内は祝賀ムードに包まれた。

学位記取得者数は次のとおりです。()内は総代氏名。

◆学 士		
ドイツ語学科	119名	(齋藤 里奈)
英語学科	232名	(鹿島 優真)
フランス語学科	80名	(冨田 美月)
交流文化学科	86名	(浅田 きらり)
言語文化学科	146名	(一ノ瀬 葵)
経済学科	276名	(柳井 万穂)
経営学科	296名	(旗野 晃弥)
国際環境経済学科	140名	(山本 華子)
法律学科	225名	(佐々木 大智)
国際関係法学科	75名	(熊谷 有紗)
総合政策学科	69名	(石塚 有紗)
合計	1744名	
◆修 士		
外国語学研究科	2名	(小川 佳祐)



獨大生がオススメする！
～獨協大学の過ごし方ON & OFF～

アイコンの見方

- Wi-Fi環境良好!
- コンセントあり!
- おしゃべりOK!
- 集中できるエリアあり!



学生食堂

ボリュームーな丼物や麺類がお手頃な値段で楽しめます。記者のおすすめは唐揚げ丼です。友達とおしゃべりしながら楽しいランチタイムを過ごせます。



ICZ (International Communication Zone)

天野貞祐記念館3階・4階中央にあるICZは、授業時間外でも利用することができます。学部・学科・学年を越え、気軽に交流できる場です。チャットルームやイベントが開催されるほか、各言語の検定試験の申し込みができます。空きコマや暇な時間にフラッと立ち寄ると、留学生がおしゃべりしていることもあり、混じってお話するのが楽しいです。

Dokkyo OFF

空きコマは仲間と過ごす!

芝生や自由に過ごせるホールなど、ゆったりできるスペースが多いのもDOKKYOのいいところ。

芝生広場

東棟と天野貞祐記念館の間にある芝生広場。小川や様々な植物から自然を感じられ、天気の良い暖かい日には、ランチや休憩に利用できます。

東棟1Fロビー

雄飛ホール

晴れの日には一面ガラス張りの大扉から穏やかな日光が入り込み、開放感あふれるホールです。普段は自習する学生や、ゼミ、サークルのグループ活動の場として利用できます。大学祭のときには床が上昇し、大扉が開放され、多くの人が集まるメインステージになります。

ベンチ

在学生にはあまり知られていない隠れ癒やしスポット!そよ風が心地よく吹き抜け、心が晴れ晴れする場所です。秋にきれいな紅葉を眺めながら1人でぼーっと座れるスポットもあります。

Dokkyo ON

教室だけじゃない!獨協学びのスポット

学びのスポットは教室だけじゃない!? 一人で黙々と、みんなでアクティブに学べる場所が複数あります。

CLEAS (クレアス)

学生の皆さんが自律的、主体的に学ぶことができる「場」です。講義に必要なレジュメを無料でプリントできるほか、OfficeソフトやAdobeソフトを使って編集加工ができるマルチメディア編集機などが利用できます。また、会話OKなのでグループ学習にも最適。もちろん自習もできます。

キャレルブース

ラーニングスクエア

図書館

蔵書数は100万冊を超え、様々な閲覧席がある図書館。レファレンスサービスやガイダンスの開催などで学習をサポートしてくれます。

コミュニティスクエア

2023年に誕生した第二のキャンパス。「学術研究・教育活動×地域との開かれた交流の場」をコンセプトとした施設です。

困ったら👉で聞け!!

いざというときのあなたのお役立ちスポットをご紹介します!

部活やサークルに入りたい!

学生会本部にいますたっぷに訊いてみよう!

新歓期間が過ぎても部員を募集している団体があります。もう入れないと諦めずに、学生会本部に行って確認してみてください。学生会本部とは、「文化会」「体育会」「愛好会」に所属している各団体の統括、活動のサポートなどを行っている組織です。獨協大学にはたくさんのサークルや部活があるので、ぜひ入って友達と思い出を作ってみてください!

身体のこと不安がある...

保健センターで相談できる!

健康や医療に関して相談したいことがあったら、保健センターへGO! 気分が悪くなった、頭痛や腰痛で体調が悪い、ケガをしたといったときには応急処置を行い、場合によっては病院や診療所を紹介してくれます。

将来のことを相談したい!

キャリアセンターに行ってみよう!

進路選択や就活活動全般の悩みなどの相談に応じてくれます。企業や説明会のパンフレットは通路に置いてあるので、気軽に手に取ってみてください! 全学年の皆さんを歓迎してきますよ!

COVER STORY

【表紙の人】ドイツ語学科3年

Dokkyo Picksへのリニューアル後、記念すべき初めての表紙を飾ってくれたのはドイツ語学科3年生。

通常の授業に精力的に取り組むことはもちろん、「客室乗務員になりたい」という夢に向かって充実した学生生活を送っています。キャリアセンター主催のエアライン講座を受講して学んだことを生かし、株式会社マイナビが実施した「課題解決プロジェクト」に挑戦。日本航空の課題テーマに対する解決案をチームで提案し、佳作として入選を果たしました。また、2024年の2月から自らの英語力の向上と環境問題の取り組みについて学ぶため、本学の協定校であるオーストラリアのウーロンゴン大学に短期留学をする等、積極的に活動しています。

Asahido

キッチンカーも充実! 日替わりで4つの店舗が営業しています!

地元の名店が出店!

学生記者の声道サバ担当が好きてリピートしています!

獨協歴史ギャラリー

獨協大学について貴重な資料とともに見ることができるギャラリーです。創立60周年を迎える2024年春から秋まで「生誕140周年記念 天野貞祐展」を開催しています。ぜひ、私たちが過ごす学び舎の歴史を見に来てください。

全学共通カリキュラム外国語科目群「英語」部門非常勤講師を対象としたFDミーティングを実施

3月22日、全学共通カリキュラム外国語科目群「英語」部門の非常勤講師を対象としたFDミーティングが開催された。

「全学共通カリキュラム外国語科目群「英語」部門」は、外国語学部ドイツ語学科、フランス語学科、経済学部、法学部の学生が履修する共通カリキュラムであり、このミーティングは本学の英語教育の充実を図るためにFD（ファカルティ・ディベロップメント）として毎年3月に開催されている。

FDミーティングは3部構成で行われ、午前4月からは全カリ英語に加わる新任の非常勤教員対象のガイダンスを実施。午後はまず全

体ガイダンス（54名参加）を実施し、2003年にプログラムがスタートして以降一貫して教育目的としている「一般学術目的の英語（EGAP）の訓練」と「自律英語学習者の育成と支援」を確認したほか、2024年度から実施される新カリキュラムに伴う全カリ英語の科目名変更、合理的配慮義務化の確認など、重要なトピックを取り上げた。

その後、6つの教室で科目別セッションを実施。プロジェクトベースで探求型の形式に変わる科目もあり、授業内の活動案などについて教員間でアイデアを交換し、有意義な時間となった。



藤山英樹教授の著書が、第2回日本社会関係学会賞・特別賞受賞

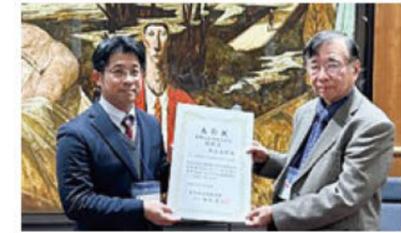
藤山英樹経済学部教授の著書「ゲーム理論からの社会ネットワーク分析」オーム社（2023年10月刊行）が、第2回日本社会関係学会賞・特別賞を受賞した。

日本社会関係学会賞は、社会関係、市民社会、政策評価に関する研究教育を奨励するため創設され、当該分野に関連する著作（出版物および博士論文）を広く公募の上、厳正な審査・選考が行われている。

この度、藤山教授の著書は「非常に精密な議論の積み重ねによって、社会ネットワーク分析の本質を深いレベルで読者に理解してもらおうという熱意」のもとで、「ゲーム理論と社会ネットワーク論をソーシャル・キャピタルの視点を経て、統合しよう」としており、「社会ネットワーク分析に関する優れたテキストである」と

高く評価され、特別賞を受賞した。

20日に授賞式が行われ、翌21日には、受賞したテキストの内容をもとに、藤山教授が講師として、特別講義が開催された。社会の構造を解明する社会ネットワーク分析と個人の駆け引きを分析するゲーム理論から、ソーシャル・キャピタルがどのように位置づけられるかが解説され、講義中にも多くの質問がなされるなど、和やかな雰囲気が進められた。



進路選択を行う学生に対するキャリアセンターの支援体制

キャリアセンターでは皆さんの進路選択をサポートする様々な取り組みをしています。窓口相談やガイダンス・講座への参加など積極的に活用してください。PorTaII、LINEにて具体的な内容を連絡しますので、最新の情報を必ず確認してください。LINE登録についてはガイダンス・講座、キャリアセンターにてお知らせします。キャリアセンターは皆さんの進路選択をしっかりサポートしていきます。



獨協大学英語教育研究会 (DUETA) ワークショップをハイブリッド形式にて開催

3月9日、獨協大学英語教育研究会 (DUETA) 主催の第13回ワークショップ「ROUND SYSTEMの実際」が対面とオンライン併用のハイブリッド形式にて開催された。講師は、落合千裕氏（埼玉県熊谷市立玉井中学校教諭）が務め、およそ65名が参加した。参加者からは「ワークショップに参加することで、これまでの自分の実践は形式的にやりすぎていたかなと改めて思うことができた。目の前にいる生徒に合わせて自分なりに改良しながら授業を展開していきたい」「繰り返して教科書内容を学ぶ大切さを再確認できた」といった声が寄せられた。



オープンカレッジ特別講座

世界農業遺産「武蔵野の落ち葉堆肥農法」を考へる
—映画「武蔵野」を観て—を開催

3月23日、天野貞祐記念大講堂でオープンカレッジ特別講座が開催された。主に社会人を対象とした生涯学習講座「オープンカレッジ」の無料講演会で、事前の申し込みにより271名が受講した。

講師は2023年7月に世界農業遺産に認定された「落ち葉堆肥農法」について、この認定を目指してきた武蔵野の落ち葉堆肥農法世界農業遺産推進協議会のアドバイザーを務めていた犬井正獨協大学名誉教授。講座

では、化学肥料に頼らず落ち葉堆肥を畑に投入した土づくりから行う伝統的な堆肥農法的重要性について考察した。

受講者のアンケートでは、「今まで知らなかったことを知った楽しい時間だった」と、講義内容に満足した感想が多数寄せられた。落ち葉堆肥農法により様々な環境問題を乗り越えることができる可能性について再認識した様子が見えた。



2024年度入試状況総括

2024年度の獨協大学入試志願者数が確定した。11月に実施した「学校推薦型選抜、総合型選抜、その他選抜」では1,285人（前年比110.1%）の志願者数となった（編入・再入学は含まず）。また一般選抜においては、4年ぶりに2万人を超え、20,993人（前年比114.2%）の志願者数となった。年内入試と一般選抜を合計すると、全体で22,278人（前年比113.9%）となった。今年度は18歳人口の減少幅が大きい年であったが、本学の志

願者数は前年度を大きく上回る結果となった。

指物敏一入試課長は、「今年度、本学の入試志願者は年内、一般とも増えたが、この流れを継続していけるよう、2025年度入試においても、受験生の視点に立った入試制度改革を推進するとともに、最新の動画配信や、オープンキャンパス、SNSなども積極的に活用しながら獨協大学の魅力を伝えていく。ぜひ、在学生の皆さまにもお力添えをいただきたい」と語っている。



クラブ・サークルが新入部員を募集

獨協大学の30の文化会団体（部）、40の体育会団体（部）、39の愛好会団体（サークル）では、現在、新入部員を募集している。



2024年学生会誌「雄飛」▶



各団体の情報は、以下から取得可能。

- 大学ホームページでどんな団体があるか調査
トップページ▶学生生活▶クラブ・サークル
- 冊子「雄飛」で団体の活動を確認
- 獨協大学学生会新入生歓迎ページ
(右の二次元コード)をチェック
- 学生会事務課(学生センター3階)でスタッフに相談



MORE INFORMATION

2023年度秋学期

「学生による授業評価アンケート」結果報告

授業評価アンケートは、授業に対する学生の皆さんの意見を伺い、今後の授業内容の改善を目的として各学期末に実施しています。アンケート結果は授業毎に集約し、授業を担当している教員や授業を開講している学部、学科にフィードバックしています。

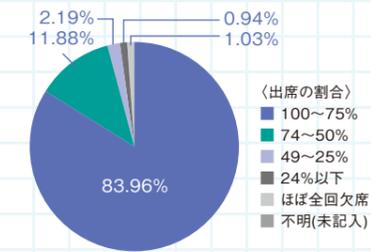
2023年度秋学期の授業評価アンケートは無事終了しました。大学全体での集計結果をご報告します。個々の授業の集計結果は、PorTaIIをご覧ください。

◆実施状況

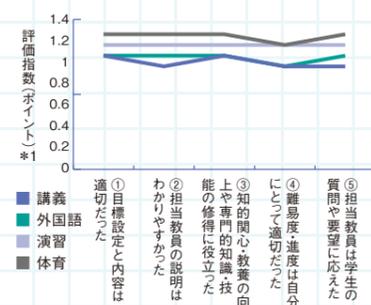
実施期間:
2023年12月19日(火)～2024年1月22日(月)
PorTaIIにて実施

	対象者数	回答者数	回答率
23年度秋学期	8,070	2,714	33.63%
22年度秋学期	7,829	2,743	35.03%

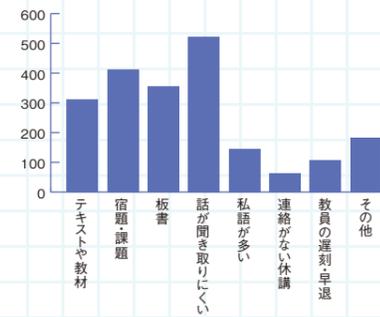
1.出席状況(全学平均)



2.授業評価(授業形態別)



3.各授業の問題点(複数選択可)※2



※1 授業に関する5項目の質問の回答を「そう思う=1.5」「ややそう思う=0.5」「あまりそう思わない=-0.5」「そう思わない=-1.5」「わからない=0」として、平均値を算出し、評価指数(ポイント)としました。

※2 延べ回答件数:15,173件

新人事(4月1日付)

■役職

- ◇学長 前沢浩子(新任)
- ◇副学長 倉橋透(新任)
- ◇副学長 鈴木淳一(新任)
- ◇外国語学部長 大重光太郎(新任)
- ◇経済学部長 塩田尚樹(新任)
- ◇法学部長 大谷基道(新任)
- ◇図書館長 山本淳(再任)
- ◇教務部長 田中善英(新任)
- ◇総合企画部長 山田恒久(新任)
- ◇自己点検・評価室長 周剣龍(再任)
- ◇キャリアセンター所長 鈴木涼太郎(新任)
- ◇教育研究支援センター所長 藤田貴宏(新任)
- ◇教育研究支援センター副所長 大澤舞(再任)
- ◇国際交流センター所長 野原ゆかり(新任)
- ◇外国語教育研究所長 岡田圭子(新任)
- ◇地域総合研究所長 大谷基道(新任)
- ◇経済学科長 野村容康(新任)
- ◇経営学科長 堀江都美(新任)
- ◇国際環境経済学科長 松枝秀和(新任)
- ◇法律学科長 大川俊(新任)
- ◇国際関係法学科長 大藤紀子(新任)
- ◇総合政策学科長 関根徹(新任)
- ◇外国語学部教務主任 小早川暁(新任・5月1日付)
- ◇経済学部教務主任 高畑純一郎(新任)
- ◇法学部教務主任 岡田順太(新任)
- ◇保健センター所長 伊藤晋二(再任)
- ◇保健センター附属診療所長 伊藤晋二(再任)
- ◇カウンセリング・センター所長 田口雅徳(再任)

- ◇地域総合研究所主任研究員 作内由子(新任)
- ◇法学研究科委員長 納屋雅城(新任)
- ◇経済学研究科委員長 鈴木淳(新任)
- ◇法学研究科主事 張睿暎(再任・5月1日付)
- ◇経済学研究科主事 藤山英樹(新任)
- ◇地域と子ども・高齢者サービスセンター長 徳永光(再任)
- ◇学友会会長 前沢浩子(新任)
- ◇学友会総務部長 吉川信将(新任)
- ◇学友会文化部長 常石史子(新任)

■退職(3月31日付)

- ◇教員 山路朝彦^{*}、原成吉^{*}、佐藤勘治^{*}、山本英政^{*}、高橋良子、石井保雄^{*}、小野秀誠^{*}、小柳春一郎^{*}、山田洋^{*}、福永文夫^{*}、ロン美香^{*}、濱健夫、谷遼大^{*}
- ※は2024年度非常勤講師
- ◇年度途中退職教員 K.ニーヴァルダ
- ◇職員 杉田敦、延藤博隆、原田京子、藤波伸子

■昇任

- ◇准教授 熊木淳(仏)、平田彩奈恵(言)、堀川宏(言)
- ※〔 〕内は所属学科。略称は裏表紙参照。

■学外研修

- ◇英語学科 浅岡千利世(2024年4月1日～2024年9月23日)
- ◇フランス語学科 根本昭英(2024年4月1日～2025年4月1日) ワイルド玲奈(2024年9月1日～2025年9月1日)
- ◇言語文化学科 浦部浩之(2025年3月20日～2026年3月19日) 小宮秀陵(2025年3月1日～2026年3月1日) 和田智(2024年4月1日～2024年9月23日)
- ◇経済学科 徳永潤二(2025年3月31日～2026年3月31日)
- ◇国際関係法学科 J.ラシーン(2024年4月1日～2025年4月1日)

■特別研究休暇

- ◇英語学科 杉山晴信(2024年9月24日～2025年9月23日)
- ◇フランス語学科 藤田朋久(2024年4月1日～2025年3月31日)
- ◇言語文化学科 安井一郎(2024年4月1日～2025年3月31日)
- ◇経済学科 全載旭(2024年4月1日～2025年3月31日)
- ◇総合政策学科 若尾岳志(2024年4月1日～2025年3月31日)

大学からのお知らせ

学校において予防すべき感染症

「学校において予防すべき感染症」は学校における感染拡大防止のため、学校保健安全法・学校保健安全法施行規則により「出席停止期間」が定められています。下記感染症と診断された(疑いも含む)場合、速やかに「感染症入力フォーム」に入力してください。折り返し、保健センターから連絡します。

感染症入力フォーム▶



学校保健安全法施行規則第18条に規定される感染症

- 第1種 エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限り)、鳥インフルエンザ
- 第2種 インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1)を除く)、百日咳、麻疹(はしか)、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、風しん(三日ばしか)、水痘(みずぼうそう)、咽頭結膜熱、新型コロナウイルス感染症、結核、髄膜炎菌性髄膜炎

ハラスメント対策委員会 ハラスメント防止のために

2024年度から「ハラスメント対策委員会」が設置され、ハラスメント防止の啓発活動や解決に向けた取り組みを行います。ハラスメントに関する相談がある場合は、専用の外部相談窓口へ話をすることができます。詳しくは、PorTaIIダウンロードセンター(学生用フォルダ>学生生活>相談・ハラスメント防止>「2024年度ハラスメント相談ガイド」)をご覧ください。

AED(自動体外除細動器)について

自動体外除細動器は、突然の心肺停止の救命措置の際に使用する機器です。設置場所は、獨協大学HP>学生生活>保健・安全衛生>自動体外除細動器(AED)で確認してください。

AED設置場所



個人情報保護について

本学では、個人情報を取扱う場合に生じる人権侵害から個人を保護するために、本学が保有する個人情報の取扱いに関して必要な事項を定め、本人の権利、利益及びプライバシーの保護に努めています。

問い合わせ先
総務課 048-946-1639
個人情報保護について



訃報

生前のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。(順不同)

酒井 府(さかい・おさむ)
元学長・名誉教授
2024年2月9日 病気のため死去、89歳
1976年 教授
1993年 学長
2005年 名誉教授

古沢 博(ふるさわ・ひろし)
名誉教授
2023年11月23日 病気のため死去、93歳
1974年 教授
2001年 名誉教授

林 節雄(はやし・せつお)
名誉教授
2023年12月17日 病気のため死去、91歳
1973年 教授
1984年 国際交流センター所長
2002年 名誉教授

酒井府先生を偲んで 柿沼義孝

「私生まれも育ちも葛飾柴又です。帝釈天で産湯を使い、姓は車名は寅次郎、人呼んでフーテンの寅と発します」心の中では、今でも先生のあの声が聞こえてきます。先生はいつも明るく、誠実で一本人な方でした。お人柄から、ゼミを希望する学生は毎年大変多く、いつも人気でした。さぞかし選考には難儀をされたことと思います。先生にお会いしたのは1977年、大学院を出た後の若輩の私を非常勤として、そして79年からは専任の同僚として歓迎してくださいました。それから今日まで47年の年月が流れました。先生からいろいろなことを学びましたが、特に学生に対する一貫した優しさや厳しさは今でも忘れません。

先生はドイツ語学科のほぼすべての教員の誕生日を覚えておいでで、誕生日を迎えると必ずメールが届きました。これについてドイツ語学科の先生方で知らない方はいないと思います。また、軽妙な駄洒落は学内でも有名でした。今となってはこれ聞くことが叶いません。本当に寂しく思います。先生、長い間本当にお疲れ様でございました。そしてありがとうございました。どうぞゆっくりとお休みください。ここに能「融(とる)」の一節を先生に捧げます。「影傾けて明け方の、雲となり雨となる。この光陰に誘われて、月の都に入りたもう装い、あら名残惜しの面影や、名残惜しの面影」(かきぬま・よしたか 名誉教授)



酒井 府(さかい・おさむ)
元学長・名誉教授

退職教員からの声

2024年3月に退職された教員からのメッセージをお届けします。



小柳 春一郎 (こやなぎ・しゅんいちろう)
法学部法律学科・教授

私は、獨協大学に1995年から29年間お世話になりました。獨協大学は、大変充実した研究教育の場でしたし、学生の皆様の勉学ぶりからも刺激を受けました。感謝申し上げます。獨協大学と在学・卒業生の皆様のますますの発展を祈っております。



小野 秀誠 (おの・しゅうせい)
法学部法律学科・教授

授業では、リーディング判例のような同じ問題でも、年度によって参加者の対応にはかなりの差があり、年月や社会の相違を感じさせるものがありました。ぜひ身近なところから、大きな変化を発見してください。皆さまの発展を心よりお祈りします。



石井 保雄 (いしい・やすお)
法学部法律学科・教授

本学で大学教師生活の過半を過ごしたことを幸いに思います。創立から60年が経過するなかで、本学には、全学教授会制度など独自の文化・学風が育ち、根付いていると思います。それらが今後も維持され、発展することを願っています。



福永 文夫 (ふくなが・ふみお)
法学部総合政策学科・教授

2001年獨協大学に赴任。初めて兵庫県から出ました。この1月にゼミのOBたち100人と会い、彼ら彼女らとこの23年を振り返りました。震災もありましたが、結構楽しい日々でした。有難うございました。大学とみなさんに良い明日を。



原 成吉 (はら・しげよし)
外国語学部英語学科・教授

獨協大学という共同体で39年、学部時代と含めると43年にわたって育てていただきました。多くの諸先輩、同僚の先生が、そして職員のみなさまに支えられ、無事に定年を迎えることができました。これからは終わらなき山河に、サカナとボエジーを探しにゆきます。たくさんの思い出をありがとうございました。母校のさらなるご発展を心よりお祈りしております。



佐藤 勤治 (さと・かんじ)
国際教養学部言語文化学科・教授

30年以上前、大学教育においてスペイン語がやっと第二外国語として認められ始めた時期に着任しました。嬉しいことに、今ではスペイン語圏で多くの獨協卒業生が活躍しています。スペイン語圏はまだ未知で魅力的です。一層、目を向けていただけるよう期待しています。



山本 英政 (やまもと・ひでまさ)
国際教養学部言語文化学科・教授

この大学で多くの学生たちと出会い、ときに思わぬ気付きにはっとさせられることがありました。時代の微妙な変化を肌で感じ取れたことはわたしにとって貴重な財産となっています。どうもありがとうございました。



山田 洋 (やまだ・ひろし)
法学部法律学科・教授

当然のことながら、定年退職には、やや複雑な感情が伴います。しかし、コロナの期間を含めて、わずか6年間の在職でしたが、教職員や学生の皆様の温かさによって、誠に充実した教員生活を過ごすことができました。この機会に、皆様方のご活躍と大学のご発展をお祈りさせていただきます。



山路 朝彦 (やまじ・あさひこ)
外国語学部ドイツ語学科・教授

学生の皆さんへ: 社会に出て振り返ると、学生時代の4年間がいかに貴重なものかが分かります。今の時間を大切に。
教職員の皆さんへ: 良い同僚の先生方、良い職員の方々に恵まれ、仕事に携わらせていただきました。皆さま、本当にありがとうございました。

DOKKYO SDGs

Sustainable Development Goals

獨協大学のSDGsと省エネ・省CO₂

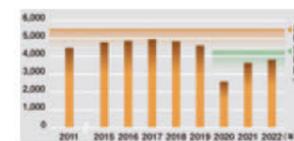
獨協大学は「埼玉県SDGsパートナー」への登録(2021年3月)を機に、持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲット達成に向けた教育・研究を推進しています。「埼玉県SDGsパートナー」における宣言書では、学則第1条の「社会の要求する学術の理論および応用を研究、教授することによって人間を形成し、あわせて獨協学園の伝統である外国語教育を重視して今後の複雑な国内および国際情勢に対処できる実践的な独立の人格を育成する」を取組方針としています。これに従い獨協大学では、SDGsの達成を担う人材の輩出に貢献する実践的な独立の人格育成をしています。また、宣言書の「環境」「社会」「経済」の3側面からの重点的な取組と指標のうち、「環境」に関する重点的な取組として「CO₂排出量削減」を掲げ、3年後に向けた指標としては「24%のCO₂排出量削減」、2030年に向けた指標としては「26%のCO₂排出量削減」としています。2022年度の31%のCO₂排出量削減を達成していますが、2021年のCOP26で日本は、2030年までに2013年比でCO₂排出量46%削減、2050年には実質ゼロと声明しており、楽観視は全くできない状況です。学生の皆さんにも使用していない教室の消灯や空調のOFF、気候のいい中間期の窓開け換気や服装による体温調整等、省エネ省CO₂対策の実践をお願いします。

分野	SDGs達成に向けた重点的な取組	指標
環境	「CO ₂ 排出量削減」 「環境」の取組のため、CO ₂ 排出量を削減する。 ＜1掲げ目標＞2022年の数値＜CO ₂ 排出量 31%削減＞ ＜2掲げ目標＞2024年度～2026年度の3か年の平均値。	＜2030年に向けた指標＞ CO ₂ 排出量 26%減 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ CO ₂ 排出量 24%減
社会	「SDGs関連科目履修者数の増加」 SDGs人材を輩出するため、SDGs関連のキーワードを含む科目履修者数を増やす。 ＜1掲げ目標＞2022年の数値＜SDGs関連科目履修者数 6,693人＞	＜2030年に向けた指標＞ 8,000人 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 7,000人
経済	「教育の機会を基盤とした経済的価値の創出」 教育の機会を基盤として、地域の社会課題や時代課題を解決する実践的な教育、研究で創造される価値の活用、学生が創出した商品の販売活動などを通じて、地域社会の活性化に貢献する。 ＜1掲げ目標＞2022年の数値＜上記活動件数＞13件	＜2030年に向けた指標＞ 25件 ＜取組開始3年後に向けた指標＞ 20件



SDGs報告書2023
獨協大学における数々のSDGsの事例が載っています。

「埼玉県SDGsパートナーシップ」における獨協大学の宣言書
※詳細はホームページをご覧ください。



獨協大学のCO₂削減目標と排出量の年間推移 (単位:t-CO₂)

2020年からコロナ禍の影響でCO₂排出量は下がっていましたが、徐々に上がり始めています。今後の削減義務の強化に向け、学生の皆さんのご協力が不可欠です。



獨協大学コミュニティスクエアはサステナブル建築物等先導事業(省CO₂先導型)に採択され、補助金を受けています。また、建築環境総合性能評価システムCASBEEのSクラス(最高位)の取得など、省エネ・省CO₂に優れた建物として認められています。

獨協大学の防災 ~安心安全なキャンパスライフのために

安否確認サービス利用登録しましたか?

本学では、災害時に学生の安全状況を確認するため、セコム「安否確認サービス」を導入しています。災害時に自身の状況を報告できるよう、利用登録を行ってください。

■ 利用登録の手順(スマートフォンの場合)

1.e-革新サービスへログイン

https://www.e-kakushin.com/login/

ログインに必要な企業コード、ID、パスワードは獨協大学Webメールにお送りしています。

2.本人情報の変更

画面右上の「メニュー」→「アカウント管理」→「パスワード変更」から初期パスワードを変更後、図1のページ最下部の「本人情報を変更する」を押し、必要な情報登録、修正を行ってください。特に図2の3項目については、各人により追加の登録をお願いします。

図1

図2

利用登録、利用方法の詳細はPorTaIIダウンロードセンターで公開しています。
PorTaII > ダウンロードセンター > 防災 > セコム安否確認サービス
問い合わせ先: 総務課 TEL. 048-946-1785



QRコードからe-革新サービスのログイン画面にアクセス!



防災マニュアル
安否確認サービスの利用方法、学内避難経路など役立つ情報を携行サイズの「防災マニュアル」に掲載しています。



防災マニュアル▶

毎年10月に防災訓練を実施します

2024年10月23日(水)15:05~
※3限目授業終了10分前から避難放送開始

本学の先生方が執筆された新刊情報をお届け！

RECOMMEND BOOKS

2024 SPRING

03

小野 秀誠(名誉教授)、湯川 益英(経済学教授) 分担執筆
『判例プラクティス民法Ⅱ 債権(第2版)』
信山社 2023年9月 3800円
判例法理の体系的理解を可能にする民法(債権)学習教材の第2版。初版(2010年)以降の民法改正に対応すると共に、収録判例を見直し令和4(2022)年までの全407件を解説しています。



04

明田川 聡士(言語文化学科学科教授) 訳(陳 又津 著)
『霊界通信』
あるむ 2023年10月 2300円
それぞれ異なる性、年齢、人生を歩む「わたし」を語り手とする四章の物語は、医療・介護の問題などに題材を広げながら、ときに皮肉、風刺、ブラックユーモアを交えて描き出されています。台湾出身の在米華人作家による最初の長編小説です。



07

伊豆田 俊輔(ドイツ語学科学科教授) 分担執筆
『ドイツ国民の境界 一近代史の時空から』
山川出版社 2023年11月 5500円
ドイツ語圏における「境界」の生成と作用について具体的な事例をもとに検討。多層性、曖昧性など、境界の様々な特性が表出する場面とその背後にある論理を歴史的文脈に沿って抽出。「境界」を生きた人々の歴史に接近しつつ、伸縮自在で可変的なドイツ語圏の歴史の一端を描き出した論文集。



08

熊木 淳(フランス語学科学科教授) 分担執筆
『戦後フランスの前衛たち 一言葉とイメージの実験史』
水声社 2023年11月 6000円
大戦後の芸術運動を俯瞰する第一部、前衛周辺の作家たちを論じる第二部、詩に革新をもたらした音声詩、視覚詩の展開を見据える第三部を通して、戦後フランスの前衛運動の見取図を描き出します。



11

尾玉 剛士(フランス語学科学科教授) 共訳(ミシェル・マルゲラズ、ダニエル・タルタコフスキ 著)
『解けていく国家—現代フランスにおける自由化の歴史』
吉田書店 2023年12月 3200円
戦後フランスでは「規制国家」「社会国家」が民衆の支持を基礎に形成されました。やがてそうした国家が自由化・市場化によって「解けていく」過程と、その一方で「秩序維持国家」の様相が強まっていく過程が描かれます。



12

井上 靖代(経営学科学科教授) 分担執筆
『図書館サービス概論 JLA図書館情報学テキストシリーズⅢ 4』
日本図書館協会 2023年12月 1900円
新しい時代の図書館サービスの広がりを丁寧に解説したテキストブック。各地で実践されている多様なサービスを原理(モデル)に基づいて構造的に理解する力を身に付けられるようになっています。図書館サービスの本質をとらえる際の必携書です。



15

山田 修(名誉教授) 訳(ジョージ・マッカイ・ブラウン 著)
『ヴァインランド』
鳥影社 2023年12月 2500円
コロンブスより500年も前にヴァイキングが訪れていた北米の地ヴァインランド。英国グレートブリテン島北東のオークニー諸島に生まれ、ヴァインランドへの密航等、波乱に富んだ主人公の一代記。11世紀北敗の知られざる歴史物語です。



16

加藤 一彦(国際関係学科学科非常勤講師) 共編著
『新7版・現代憲法入門講義』
北樹出版 2024年2月 3000円
憲法と現実の矛盾を意識しつつ、そのあるべき姿を初学者に理解できるように解説。昨今の憲法政治の動向にも対応。各講のレジュメが要点の把握を助け、チェックポイントがさらなるステップアップを促します。最新の最高裁判所判決も踏まえた最新版。



01

古閑 彰一(名誉教授) 分担執筆
『平和学事典』
丸善出版 2023年6月 24000円
平和学とは、何が平和を脅かすのか、そして何が平和の基礎となるのかを究明する学問です。本書は、日本平和学会を編集母体として、計276項目を立項した日本の平和学の総力を結集した初めての学問事典です。



02

岡田 順太(法律学科学科教授) 共編著
『障害のある人が出会う人権問題』
成文堂 2023年9月 3000円
憲法、障害法、社会福祉法、障害者福祉論等を学ぶ学生や、障害を持つ人及びその家族、福祉関係者、法律家が、体系的憲法学の人権論の観点から「障害のある人の人権」を学ぶための書です。



05

半田 滋(言語文化学科学科非常勤講師) 著
『台湾進攻に巻き込まれる日本—安倍政治の「継承者」、岸田首相による敵基地攻撃・防衛費倍増の真実』
あけび書房 2023年10月 1800円
台湾有事は2027年までに起きる?米中が軍事衝突すれば日本が攻撃対象になり、沖縄が「捨て石」に。「敵基地攻撃能力の保有」で「専守防衛」を投げ捨て「新しい戦前」に向かう岸田政権の危険性を問う一冊。



06

小野 秀誠(名誉教授) 分担執筆
『新ハイブリッド民法1 民法総則(第2版)』
法律文化社 2023年10月 3100円
抽象的な法規範が実際の事件にどのように適用されるのかイメージしやすいようにCaseやTopicなども用いて、読者に立体的な理解を促します。初版刊行(2018年)以降の関係法令の改正や重要判例をおさえて改訂。



09

大藤 紀子(国際関係学科学科教授) 分担執筆
『新国際人権法講座(第5巻) 国内的メカニズム/関連メカニズム』
信山社 2023年11月 5400円
激動する世界における国際人権規範の実相や各国での実施状況を分析した「新国際人権法講座」の第5巻。国際連合をはじめ、各国国際機関が定める人権条約を実現する、国内法上の仕組みや制度を比較法的に考察しています。



10

鈴木 涼太郎(交流文化学科学科教授)・松本 健太郎(英語学科学科教授) 編著、須永 和博(交流文化学科学科教授)・山口 誠(交流文化学科学科教授) 分担執筆
『移動時代のツーリズム—動きゆく観光学』
ナカニシヤ出版 2023年12月 2600円
グローバル化の進展と移動に関連するテクノロジーの発達ともなう「移動時代」における観光の変容を多角的に考察します。



13・14

柿沼 義孝(名誉教授)、黒子 葉子(ドイツ語学科学科教授)、マティアス・ビティヒ(ドイツ語学科学科教授)、矢野々 崇(ドイツ語学科学科教授) 共著
『ABCドイツ語 初級総合読本1』
白水社 2024年2月 2500円
『ABCドイツ語 初級総合読本2』
白水社 2024年2月 2600円
ヨーロッパ言語共通参照枠A2レベルを目指す、ドイツ語の総合的な学習のための教材です。パートナー練習を通して、日常的なドイツ語表現を学び、「ドイツ語の仕組み」で各課の文法事項を確認。短い文章の読みや発音練習、豊富な練習問題で、その課で学んだ文法力を定着させます。



17

根木 昭英(フランス語学科学科非常勤講師) 分担執筆
『レトリックとテロロジー ロドゥ/サルトル/ブランショ/ポーラン』
水声社 2024年3月 4500円
言語表現の臨界点を提起したポーランを紹介して、戦前の文壇を代表する大作家ロドゥと、新進気鋭のサルトル/ブランショとの知られざる応酬を明らかにし、戦後フランス文学の基調をなす言語観に迫ります。



18

大串 紀代子(名誉教授) 訳・解説(カール・シュビッテラー 著)
『スイスよ、中立であれ—絵画と写真で読む「私たちスイスの立場」』
明石書店 2024年3月 2600円
第一次世界大戦勃発の1914年、後のノーベル文学賞詩人シュビッテラーはチューリヒでスイス人に中立の維持を呼びかける演説を行いました。その演説文を邦訳、さらに関連する絵画・写真等とともに解説し、永世中立国スイスのアイデンティティを浮き彫りにします。



父母の会助成 キャンパスメンバーズ&大学パートナーシップ
芸術・文化に触れよう! —文化施設利用制度のご案内

学生証の提示で博物館・美術館への入場が無料(割引)になります。



東京国立近代美術館
1952年に開設された日本初の国立美術館で、絵画・彫刻・水彩・素描・版画・写真など、さまざまな作品を所蔵している。
東京メトロ東西線 竹橋駅下車



東京国立博物館
日本を軸に東洋のさまざまな地域の文化財を収集・保管し、一般に公開している。お薦めは重要文化財にも指定されている本館(日本ギャラリー)。
JR山手線/東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅、京成線 京成上野駅下車



国立科学博物館
日本で唯一の国立の科学博物館であり、展示されているもの他に収蔵品の数は485万点を超える。
JR山手線/東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅、京成線 京成上野駅下車



江戸東京たてもの園
都立小金井公園の中に位置し、敷地面積約7ヘクタール。現地保存が不可能な文化的価値の高い歴史的建造物を移築し、復元・保存・展示している。
JR中央線 武蔵小金井駅下車



彩の国さいたま芸術劇場
1994年オープン。の劇場。シェイクスピア全37作品を上演した「彩の国シェイクスピア・シリーズ」をはじめ、質の高い演劇、舞踊、音楽公演を実施している。
JR埼京線 与野本町駅(西口)下車



草加市文化会館
草加市に内外から一流の芸術家を招へいし、質の高い芸術を鑑賞する場を市民に提供している。
東武スカイツリーライン 獨協大学前(草加松原)駅 下車

- その他、下記施設でも制度が適用されます。
- ▶国立工芸館(石川県金沢市) ▶国立西洋美術館 ▶国立新美術館 ▶国立映画アーカイブ ▶国立劇場(閉場中) ▶国立科学博物館 附属自然教育園 ▶筑波実験植物園 ▶江戸東京博物館(休館中) ▶東京都美術館 ▶東京都現代美術館 ▶東京都写真美術館 ▶東京都庭園美術館 ▶東京芸術劇場 ▶東京文化会館 ▶埼玉会館 ▶制度の詳細については大学ホームページをご確認ください。(大学HP美術館・博物館等の利用特典制度)



ぶ-ら-り-ら-い-ぶ-ら-り

Vol.110

獨協大学図書館へようこそ!

新年度がスタートしてから1か月が経ちました。皆さん、もう図書館を利用しましたか? 「図書館ってどうやって利用するのかわからない…」という方は必見! 今回は、図書館の基本的な利用方法やサービスをご紹介します。



STEP 01 入館・退館

出入口は、1〜3階の各階にあります。ゲートに学生証をかざして入館します。



STEP 02 資料の配置

テーマ別で、各階に配架されています。同じテーマの図書・雑誌・参考図書は、すべて同じ階に揃っているので、特定分野の資料を探しやすいのが特長です。

3階	芸術、言語、語学、文学
2階	社会科学、自然科学、工学、産業
1階	総記、哲学、歴史

STEP 03 貸出・返却

本と学生証を持って、メインカウンター(1階)または3Fカウンターで手続きを行ってください。1階には、学生証をタッチしてセルフで貸出できる「自動貸出機」もあります(返却は不可)。

区分	貸出冊数	貸出期間
学部学生	20冊	14日 (図書・雑誌共通)
大学院生	30冊	図書:30日 雑誌:14日

STEP 04 資料相談

資料探しなどで困った時は、レファレンスカウンター(1・2階)へ相談してみましょう。レポートの書き方や、データベースの使い方などの質問も受け付けています。



個人利用にもグループ利用にも対応した、多種多様な閲覧席を用意しています。その時の学修スタイルに合わせて、利用してください。



美しい中庭が見える窓際は人気の席です!



グループ学習にぴったりの部屋もあります!

広報誌「Do!」は「Dokkyo Picks」へ



獨協と未来の架け橋となる広報誌

60周年の活動コンセプト“つなぐ”。

獨協大学に関わる皆さんがつながり、共に発展する。

そんな“つなぐ”機会を伝え、媒介となる冊子として、

広報誌「Do!」は「Dokkyo Picks」に生まれ変わります。

ロゴの上部は大学と社会、世界、未来をつなぐ

獨協さくら橋をモチーフにしています。

獨協と皆さんの架け橋になることを願って。



Dokkyo Picks のnoteが始動しました!

本誌には載せきれない情報等を随時更新していきます。

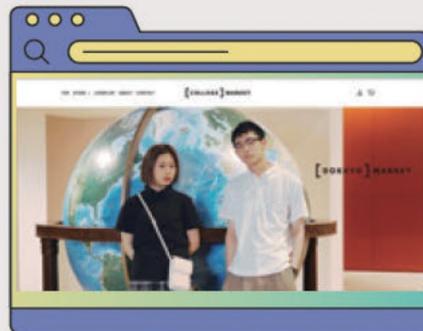
note



本学オリジナルアパレル誕生!
ECサイト【DOKKYO】MARKET
にて販売中

4月26日より、創立60周年記念企画として開発した本学オリジナルアパレル商品の販売を、ECサイト「【DOKKYO】MARKET」にて開始しました。

この企画は、還暦にあたる60年を機に本学のイメージを刷新するとともに、関係者の愛校心の育成を目的とするもので、商品開発は学生と教職員のプロジェクトにより実施しました。商品はTシャツ、パーカー、キャップ等のアパレルとペンやウォーターボトル等の雑貨を含め16種類の幅広いラインナップが揃いました。今後はシーズン毎に商品の入れ替えを行う予定です。皆さんも獨協ブランドのアパレルを身に着けて、街に繰り出そう!



<https://collegemarket.jp/collections/dokkyo>



獨協大学学生サポート寄付金事業報告

(2022年12月1日～2024年3月31日)

2022年度12月1日より開始しました「獨協大学学生サポート寄付金」の募集につきまして、ここに2024年3月末日までのご寄付の状況を報告いたします。ご寄付いただいた皆さまに深く感謝申し上げます。

■申し込み件数(延件数):306件 ■総額:20,140,385円

■寄付者ご芳名



50音順、敬称略 ※ご芳名の掲載に同意いただいた方のみ

獨協大学学生サポート寄付金 募集協力をお願い

本事業は、「よりよい社会の構築に貢献する人材」を育成すべく、国際化推進、地域連携・地域貢献、学生会活動、自律学習など、学生の活動全般を広く永続的に支援することを主眼としています。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

※クレジットカード決済、コンビニエンスストア決済、インターネットバンキング(Pay-easy)、銀行振込等をご利用いただけます。

詳しくは、本学ホームページをご覧ください。

<https://www.dokkyo.ac.jp/donation/>



※法人の方は直接お問合せください。

所管 獨協大学総合企画課

TEL.048-946-1635

編集 総合企画課(中央棟2階) TEL.048-946-1635 kouhou@stf.dokkyo.ac.jp

学生記者 大久保 賢斗(営3年) 岡田 陽依(英4年) 片柳 月奈(言3年)
[五十音順] 金田 夏実(律3年) 黒木 健登(律3年) 齋藤 史空(英4年)
島田 瑞里香(済3年) 庄司 光希(総4年) 土田 優衣(営3年)
土屋 日花莉(律3年) 原 友里恵(英4年) 柳澤 真理子(営3年)
渡邊 帆風(営3年)

略称表記(学科) 独…ドイツ語/英…英語/仏…フランス語/交…交流文化/言…言語文化/
済…経済/営…経営/環…国際環境経済/律…法律/関…国際関係法/総…総合政策



<https://www.dokkyo.ac.jp/>

今回は7月号(7月1日発行予定)です